

山形県立霞城学園高等学校 同窓会報

第24号

山形県立霞城学園高等学校
同窓会
〒990-8580
山形市城南町一丁目1番1号
TEL 023(647)0521(定時制)
TEL 023(647)0522(通信制)



たくさんの想いを母校へ
会長 佐藤 大(Ⅲ部2回卒)

数年ぶりに、旧職員会の集まりに参加してきました。懐かしい顔ぶれを見て、とても嬉しかったのです。昔の話に華をさかせるのくらの年齢になってきたんだなと、感慨深くも思いながらも、こんなふうな昔話を笑顔で楽しめる集まりの大切さというか、優しい気持ちにさせてもらえる機会の得難さを感じる時を過ごしてきました。いつかを目指しながら、やれることをやってみようと思っ

た。同窓会の在校生応援キャンペーンと私がかつてに思って実行している、文化祭に参加して楽しもう企画があるのですが、令和6年度は、定時制、通信制、ともに参加してきました。楽しかったです。さらに後日になって一般参加の人数が非常に増えていたというのも嬉しい報告でした。学校って卒業したら、足を運ぶことはほとんどなくなるものだと思うのですが、母校の文化祭の一般参加は、年齢

がいくつになっても、「卒業生です」って先輩づらをして参加してもいいと思うのです。その参加こそが、がんばっている在校生を応援することなのです。皆さん、ぜひ母校の霞城祭、通教祭に遊びにいきましょう。

少子化にともない、県立高校でも学校再編がすすんでいます。これもまた時代の流れといえますが、霞城学園にはいろんな子をふとこころにいられてくれるという器の大きさがありません。この誰をも包み込もうとがんばっている母校を、同窓会を、同窓会を見守り、応援し期待します。同窓生のみなさんの、協力をぜひに願っています。



令和6年度 事業計画

- 令和6年4月8日(月) I・II・III部 入学式
- 4月11日(木) IV部 入学式
- 4月16日(火) 会報・総会案内等発送
- 5月19日(日) 役員打合せ(於:霞城学園高校相談室1)
- 6月1日(土) 同窓会総会
(於:霞城学園高校霞城ホール 11時~)
- 6月28日(金) I・II・III部全国大会出場の部へ激励金贈呈
- 7月21日(日) IV部全国大会出場の部へ激励金贈呈
- 9月22日(日) IV部通教祭参加
- 10月13日(日) 芋煮会
- 10月19日(土) I・II・III部霞城祭参加
- 12月上旬 備品・蔵書寄贈
- 令和7年3月2日(日) IV部 第26回卒業式
IV部 同窓会入会式
同窓会より記念品贈呈
同窓会報第24号発行
- 3月3日(月) I・II・III部同窓会入会式
同窓会より記念品贈呈
- 3月4日(火) I・II・III部 第26回卒業式

同窓生近況報告

元気でやっています。

目標に向かって

宮島千穂菜(Ⅲ部25回卒)

霞城学園高等学校を卒業後、東北電子専門学校に進学しました。将来、セキュリティエンジニアとして活躍するべく、ソフトウェアエンジニアのスキルを身につけるため、プログラミングの実習を行う「マイコン制御実習室」や、ウイルス対策や電子認証システムなどのセキュリティ技術を学ぶ実習を行う「セキュリティ実習室」など豊富な実習設備を使いながら、日々、資格取得を目指して頑張っています。大変な部分もありますが、親切な先生方に相談したり、同じ目標を持つ仲間たちと教えあったり、励ましあったりしながら毎日楽しく学校生活を送っています。これから自分の目標に向かって頑張っていく予定です。

学びから挑戦へ

安孫子舞那(Ⅳ部25回卒)

私は東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科に進学し、地域活性のためのイベント企画や商品開発、マーケティングやプロモーションについて学んでいます。コンフォイチュールの商品開発に携わったり、県主催の地域の魅力発信活動のアンバサダーに就任したりと、講義だけでなく、課外活動や学外での活動に参加することで、理解を深めています。10月には自身で企画立案から始めた、地域のお祭りの回遊性を高めるためのプロジェクトを完遂することができました。これからは、大学での学びを活かしながら、様々なことに挑戦していきます。

図書寄贈

「学校の図書館には、本がたくさんなければならぬ」という佐藤会長の信念のもと、同窓会から毎年図書を寄贈しています。在校生の学校生活が充実したものとなるよう、同窓生として応援していきます。

図書は先生にお願いしています。令和6年度に寄贈した図書の紹介をします。



バイリンガル版 君の名は。3巻
ちはやふる3巻 現代中国を知るための60章・カンボジアを知るための72章
ベルギーの歴史を知るための50章
ポーランドの歴史を知るための56章
アメリカの歴史を知るための65章
君色パレット はたらく細胞
教室で使うみんなのことは 等

全22冊寄贈

令和6年度 一般会計 予算

収入の部	目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
収入の部	繰越金	423,348	371,078	52,270	
	入会金	212,000	248,000	△ 36,000	2,000円×106名(85卒業生人数)
	会費	156,000	174,000	△ 18,000	1,000円×106名・1,000円×50口
	雑収入	0	0	0	預金利息等
	合 計	791,348	793,078	△ 1,730	
支出の部	総会費	325,000	325,000	0	総会及び総務費補助
	入会式費	5,000	5,000	0	入会式必要経費
	会報費	55,000	55,000	0	同窓会報印刷費
	記念品費	100,000	100,000	0	卒業記念品代
	奨励費	80,000	80,000	0	全国大会出場へのお祝い
	生徒活動助成費	60,000	60,000	0	寄贈図書
	同窓会企画費	20,000	20,000	0	通教祭、霞城祭
	雑費	113,000	113,000	0	
	通信費	55,000	55,000	0	会報郵送料(通年度卒、役員、幹事、納入者)
	会議費	3,000	3,000	0	役員会お茶・発送事務関連経費
	事務費	30,000	30,000	0	会費振込手数料、原簿依頼切手
	諸費	13,000	13,000	0	役員参加費補助、HP維持費
	雑費	12,000	12,000	0	駐車場等
	雑立金	100,000	100,000	0	特別会計へ
予備費	253,348	255,078	△ 1,730		
合 計	791,348	793,078	△ 1,730		

令和6年度 在校生の活躍

今年度も霞城生徒は日頃の活動の成果を十分に発揮してくれました。山形県高等学校定時制通信制第71回総合体育大会、山形県高等学校校定時制通信制生徒第69回生(活)体験発表会、山形県高等学校校定時制通信制生徒第66回作品展で上位入賞した生徒をご紹介します。

総合体育大会

★は全国大会進出者及び団体(メンバー)

【陸上競技】

- 男子200m 第3位 ★丹 航介(IV部)
男子1500m 第2位 ★寺澤 海輝(III部)
男子走幅跳 第2位 ★太田 祥平(IV部)
女子砲丸投 第1位 伊藤 優羽(I部)

【卓球】

- 女子団体 第1位 ★I-IIIII部
メンバー 横尾 美結(I部)
菅嶋 美夕(I部)
土田あすか(II部)
武田 実利(II部)

- 男子シングルス 第2位 ★澤 翔篤(IV部)
女子シングルス 第1位 ★横尾 美結(I部)
第3位 ★土田あすか(II部)

【バドミントン】

- 男子団体 第1位 I-IIIII部
女子団体 第2位 IV部
男子ダブルス 第1位 荒井 孝太・庄司 愛葉(I部)
第2位 後藤 大翔・三浦 来夢(I部)
第3位 矢野 靖識・武田 結太(III部)・I部
第3位 遠藤 隆浩・吉田 大陽(IV部)

- 男子シングルス 第1位 ★後藤 大翔(I部)
第2位 ★荒井 孝太(I部)
第3位 庄司 愛葉(I部)
第3位 遠藤 隆浩(IV部)

女子ダブルス

- 第3位 荒木 柚咲・古賀アヤカ(II部)・I部
第3位 早坂 俐咲・小笠原和花(I部)・II部
女子シングルス 第2位 ★荒木 柚咲(II部)
第3位 小笠原和花(II部)

★県選抜男子メンバー

- 後藤 大翔(I部)
荒井 孝太(I部)
庄司 愛葉(I部)
遠藤 隆浩(IV部)
吉田 大陽(IV部)
荒木 柚咲(II部)

※全国大会の団体は県選抜チームの対抗戦

生活体験発表会

- 優秀賞 加藤 芹夏(I部)

作品展

- 絵画の部 金賞 三澤 花奈(IV部)
銀賞 駒谷 修(IV部)
書道の部 佳作 宮城島しおり(I部)
金賞 山本 瑠楓(IV部)
手芸の部 金賞 高橋 空我(II部)
銀賞 前山 心里(IV部)
銅賞 川崎 真子(IV部)
銅賞 鏡 陽日樹(IV部)

全国大会 来年へ向けて

陸上競技部 IV部 丹 航介
私たちIV部陸上競技部は、県大会で太田君が幅跳びで第二位、私が200M第三位の結果を残し、東京で開催された全国大会へ出場してきました。太田君は県代表の

リレー選手にも選ばれました。それぞれが上位入賞や予選突破など目標を立てて臨みましたが、二人とも予選敗退という残念な結果になってしまいました。しかしながら、全国大会の緊張を感じたり、レベルの高い他県の選手の競技を間近で見たり、今後につながる経験ができたと思います。また、山形県の他校の選手ともコミュニケーションを図り、競技前に応援の言葉をかけあえるような関係になれたこともとても嬉しかったです。
来年度は、部員全員で全国大会に出場、そして今年の全国大会で得た経験を生かしてもっと上位を目指せるようにこれからの練習を頑張っていこうと思います。

先生からの手紙
元気ですやっていますか?

贈る辞 二篇
次代を担う少年達へ
南 洋一郎

敗れることもある。それはしかたがない。負けた上にへこたれたらだめだ。ぼくたちは二重に負けるいくぢなしであってはならない。ぼくたちは、どんなときでもへこたれないことにしよう。(1893-1980 児童文学作家)

たんたん
後藤 篤
既々と(野心を以て夢中で)
胆々と(気力と度胸を持って)
自らを 鍛々と(鍛え)
堪々と(耐えて克服し)
けれども 淡々と(拘泥せず)
坦々と(平常心で)
端々と(きっちり)
丹々と(真心をこめて誠実に)
湛々と(深く堂々と)
人生という自分の譚(物語)を 紡いで行こう。

青春

通信制 玉虫美穂子

霞城学園高校通信制に赴任して四年が経ちました。見送った卒業生はじめ同窓生の皆さん、元気で過ごして下さるか。私は、こちらに赴任してから初めての体験が多く、生徒の皆さんから学ぶことも多いと感じています。米沢支部共同学習会の会場の三階エレベーターの隣に掲げられている詩を覚えていた方はいらっしやるでしょうか。詩人Samuel Ullmanの「青春の詩」の一節です。

若さ
若さとは、人生のひとつときをいうのではない。それは心の状態をいうのだ。逞しい意志、優れた想像力。炎ゆる情熱、怯懦を乗り越える勇猛心。安逸を振り切って冒険に立ち向かう意欲。
こういう心の状態を、若さというのだ。
人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる。
人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる。
希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。
この詩を読むと、通信制で学習する様々な年代の生徒の姿が思い浮かびます。私もまだまだ若さを持ち続けようと思えます。
今年には巳年。巳年は、へびが定期的に脱皮を繰り返すことに由来し、生命力や再生、変化と進化を象徴する年だそう。卒業生、同窓生の皆さんにとっても大きく成長し飛躍できる一年となるよう願ひ、応援しています。

Table with 2 columns: 令和6年度 維持費納入者 (List of names and amounts) and 令和6年度 維持費納入者 (List of names and amounts)